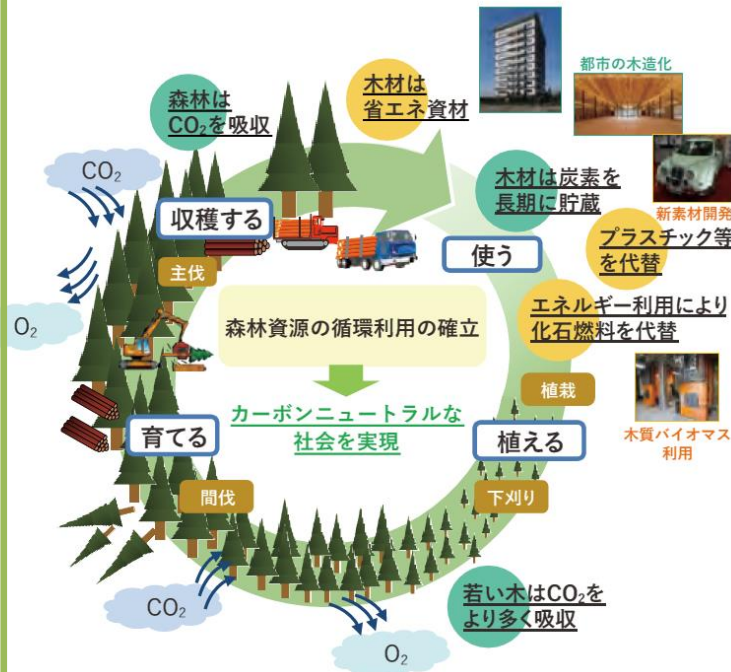


木づかいのススメ！ ～内装木質化の取組事例～

■なぜ木材を使うの？

- 森林は、二酸化炭素の吸収・固定を通じて地球温暖化を抑制する重要な役割を果たしています。
- 森林から生産される木材を住宅や内装等に利用することにより、さらに長期にわたり吸収された炭素を貯蔵することができます。また、木材は製造・加工時のエネルギー消費が鉄やコンクリート等よりも少ない、環境に優しい資材として見直されており、積極的な活用が求められています。
- 木材を使うことは、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の健全な循環利用に繋がるものであり、水源のかん養、国土の保全、地球温暖化の防止など森林の働きを発揮させるためにも、木材を適切に利用していくことが求められています。
- また、花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替えを加速化していくためにも、スギ材の利用拡大が必要となっています。
- これらを踏まえ、森林整備センターは、水源林の整備を実施する組織として、引き続き、内装木質化や机・椅子等での木材利用を進めて参ります。



出典：令和4年度森林・林業白書

■ウッド・チェンジしてみました！

Before 正面玄関の内装木質化の取組例 **After**

○訪問者にリラックス効果や安らぎを感じていただけるよう、壁面と天井に神奈川県と宮崎県産スギ材を活用しています。

オフィス家具の木質化の取組例

○天板に東京都産ヒノキを使用しています。

○天板に岐阜県産のスギ集成材を使用しています。

Before 応接室の内装木質化の取組例 **After**

○Web会議が普及する中、限られた空間で円滑なコミュニケーションが図られるよう改装を行いました。

○防火性や室内照度とともに、音環境も考慮し、熊本県産スギの不燃突板造作材をルーバーに活用しています。

Before **After**

○スチール製の書庫を宮崎県産のスギ中空パネルで囲み室内空間を木質化しています。

○福井県産のスギを衝立やデスクトップパネルに活用し室内空間を木質化しています。(福井水源林整備事務所)

木材の利用の促進 木づかい運動でウッド・チェンジ！
 については林野庁のWebサイトをぜひご覧ください。

この内容のほか、広報誌「季刊水源林」でもご紹介しています。ぜひご覧ください。

